

平成30年度 小林市立小林小学校 自己評価書

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	家庭・地域と協働し、知恵・声・汗を出すことの実行を通して、自ら行動できる（学び、思いやり、きたえる）子どもの育成を目指す。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価		結果の考察・分析および改善策等
				取組別	総合	
知 育	重点目標 自ら学ぶ子どもの 育成  手段 1 地域や社会へ の関心を高める。	1について 地域や社会の情報活 用の日常化 (昨年度43%⇒ 60%)	1について (1) 地域や社会への関心についての実 態把握 (2) キャリア教育の推進（授業等で、 身近な出来事や報道、人材や企業を活 用）	3	3	1について ○ 児童のアンケートによると「地域や社会への関心」は、 74%が肯定的な意見で昨年度より増えており、保護者の アンケートでは、80%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業等で、身近な出来事や報 道、人材や企業を活用」については肯定的な意見が54% であったが、授業や行事との関連で積極的に地域人材を活 用することができている。 ◇ 地域や社会の情報活用については、目標値を上回るこ とができた。今後は、キャリア教育推進の視点からも取組を 更に充実させていく必要がある。
	2 目的意識・課題 意識を高める。  3 主体的・対話的 で深い学びの場 を増やす。	2について 目的・課題意識をもっ た行動の習慣化	2について (1) 目的意識・課題意識についての実 態把握 (2) 目的・課題を明確にした指導と達 成・解決への称賛	4		2について ○ 児童のアンケートによると「何のために学ぶのか。（め あて）」を理解していますかの問いに91%が肯定的な意 見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業中で目的や課題を明確に した指導」については肯定的な意見が100%であった。 ◇ 日々の授業の中で必ず「学習のめあて」を設定して学習 を進めているので、児童は、めあてを意識した学びができて いる。これからも目的・課題意識をもたせながら学習に 取り組ませていく。
		3について 学力向上 (Web評価システム 活用100%)	3について (1) 学年会、職員研修等での教材研究 (2) 学びの場を明確にした授業設計 (3) Web評価システム活用とICT 活用 (4) 考え、学び合う場と時間の確保	3		3について ○ 児童のアンケートによると「授業はよく分かりますか。」 の問いに対して89%が肯定的な意見であり、「難しい問 題を周りと話し合いながら解決していますか。」の問いに 対して82%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業の中で学び合う場と時間 を保証」については肯定的な意見が92%であった。 ◇ 児童は授業に意欲的に取り組み、日々学力向上に努めて いる。学び合いの学習も積極的に取り入れ、活発に自分の 意見を言うことができる児童も増えている。Web評価シ ステムも100%の活用ができている。

